

令和6年1月26日

令和6年度滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程一般入試（冬季）  
及び外国人留学生入試（冬季）における出題ミスについて

滋 賀 大 学

このたび、令和6年1月20日（土）に実施いたしました、令和6年度滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程一般入試（冬季）及び外国人留学生入試（冬季）の試験問題において出題ミスがあることが試験当日に判明しました。

ここに、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に向け万全を期す所存であります。

1. ミスの概要

(1) 出題科目名

理論経済学

(2) ミスの内容

試験問題2において「A社の選択は」と記載すべき箇所を誤って「B社の選択は」と表記する記述ミスがあった。

(3) 当該問題の抜粋

問題2: ある商圈においてB社のみがデパートを営業していたが、同業のA社がこの商圈への参入計画を公表した。この事態にB社の取り得る選択は“(A社との)共存”か“(価格競争を始めとする徹底)抗戦”であり、B社の選択は“進出”か“(計画の)撤回”である。以上のようなゲーム的狀況が次の展開型ゲームにより表されている。

2. 受験者に対する対応

当該出題科目を選択した受験者全員（7名）を正解（加点）として取り扱い合否判定を行いました。